

2021 英國国勢調査

Keeper Securityは、2021年以降に英國企業が直面するサイバーセキュリティの課題、脅威、機会について明らかにするため、英國全土の上級IT意思決定者1,000人を対象に調査を実施しました。

英國の組織は
攻撃を受けている

▶ 92% 過去1年間にサイバーアクセスを受けたことがある

そして被害はかなり大きい



情報漏洩により損失を被った企業の8%が100万ポンド以上の損失を被った



72%が少なくとも一度は侵害の被害に

サイバーセキュリティのスキル不足が組織の自己防衛能力に影響を与えている



61%の英國企業がサイバーセキュリティのスキル不足に陥っている

お粗末なサイバーセキュリティ対策が英國企業を危険にさらしている



31%

職場でパスワードを使いまわす



32%

'password'や'admin'などの弱いデフォルトの認証情報を使用する



34%

サイバー攻撃が成功した場合、自社のCTOがその矢面に立つと回答している



36%

サイバー攻撃を内緒にしていたことを認める

英國のITリーダーたちは
政府の介入を望んでいる



91%

英國政府は、企業が事業や取引を行う上で、基本的なサイバーセキュリティ保護を義務付けるべきだと述べている



87%

企業に責任を負わせ、サイバーアクセスを減らすためには、全国的な規制機関が必要だと言う



82%

新入社員が会社で働き始める前に、基本的なレベルのサイバーセキュリティトレーニングを修了することを望んでいる。

詳細および2021年英國サイバーセキュリティ国勢調査報告書の
ダウンロードは[こちら](#)をご覧ください。